

第2学年 理学科 学習案内

1. 学習目標

- 物質分野 ⇒ 観察・実験を行い、結果を分析し、原子・分子の概念や化学変化やその量的な関係を見出して表現できる力をつける。
- エネルギー分野 ⇒ 電流とその利用について観察・実験を行い、結果を分析し、電流の性質や静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見出して表現できる力をつける。また、放射線の正体や利用及び危険性を学ぶ。
- 生物分野 ⇒ 生物の体のつくりとその働きについての観察・実験を行い、結果を分析し、動植物のつくりの違いや体内の器官のはたらきの規則性や関係性を見出して表現できる力をつける。
- 地球分野 ⇒ 気象要素や天気の変化に着目して観察・実験を行い、結果を分析し地球の大気の動きや日本の気象の変化の規則性や関係性を見出して表現できる力をつける。

* 共通の目標・・・見通しを持った実験の計画の立案や観察・実験の技能の習得

2. 学習計画

学期	月	学習内容	テスト計画
1 学期	4月	[物質] 化学変化と原子・分子	単元導入 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量
	5月		パフォーマンステスト・小テスト
	6月		小テスト・単元テスト
	7月	[生命] 生物の体のつくりと はたらき	単元導入 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ
8月	第1回到達度テスト		
9月	第2回到達度テスト・小テスト		
2 学期	10月	[エネルギー] 電流とその利用	単元導入 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界
	11月		単元テスト
	12月		第3回到達度テスト・小テスト
	1月		小テスト
3 学期	1月	[地球] 地球の大気と 天気の変化	単元導入 1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季
	2月		小テスト・第4回到達度テスト
	3月		小テスト・単元テスト

3. 評価の観点・方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	到達度テスト・小テスト・ノートの記述（振り返り含む）・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	到達度テスト・小テスト・ノートの記述（振り返り含む）・実験レポート
主体的に学習に取り組む態度	小テスト・ノートの記述（振り返り含む）・パフォーマンステスト・実験レポート

4. 学習方法・流れ

『問題提起（事象の疑問点）を挙げる⇒実験・観察・結果の共有⇒関係性を見出す⇒小テスト』のサイクルで学習することが望ましい。

実験の前の問題提起ができると実験に深みが出てくる。また、社会にある科学技術の基礎を知ることができる。学習の定着のために小テストを行う。そのために家庭でワークなどの問題演習での復習をしてください。